

第 43 号

〒542-0072 大阪市中央区高津 2-8-10 末広ビル 502 号室
Tel(06)6214-0753 Fax(06)6214-0755



ご挨拶

一般社団法人 関西常磐津協会

理事長 常磐津都毘蔵



皆様方におかれましてはご機嫌麗しくご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて先般第三回定時社員総会を開催いたしました。二十七年二十八年度の役員選出いたしました。又総会後の理事会におきまして理事長を拝命することになり其の重責に身が引き締まる思いでございます。当協会は任意団体から数えて来年で七十五周年を迎えます。その記念事業の一つとして平成二十八年十一月二十七日(日)文楽劇場大ホールで演奏会を予定しております。正会員、副会員を問わず全ての協会員

が参加できる演奏会を目指しております。詳細は一年をかけて練り、立派な演奏会が催せられるよう考えていきたいと思っております。その他記念になるような事業も考えて協会が盛り上がるよう努めてまいります。又今年の公演会は三世相錦繡文章を昨年演奏いたしました続きを十月五日文楽劇場小ホールで開催いたします。常磐津の最大の武器である「台詞劇」を再認識し、精進を重ね、皆様に聴いて頂き、常磐津を楽しんで頂き常磐津の普及発展に協会員一同勤めて参りたいと思っております。

何卒皆様のご声援、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

第七十六回

常磐津節公演会

江戸より受け継ぐ伝統のひびき

司会 桂九雀 料金 ¥4000

日時 平成27年10月3日(土)
午後1時開場
午後1時30分開演
会場 国立文楽劇場小ホール
TEL 06(6212)2531

松の羽衣

三都由紀 三三都姫
小都路 三三都貴
一巴菜 上三都貴

花舞台霞の猿曳

美佐季 三三都貴
麒六 上三都姫
亜香音

三世相錦繡文章

お婆園 都代太夫 三小欣矢
六三 巴瑠幸太夫 上小東矢
馬 一男太夫

墮地獄の段

冥鬼官 三代太夫
赤鬼官 三賀太夫
獅司 小由太夫 三綱男
長庵 三賀太夫 上三之祐
市子 小由太夫
権兵衛 巴松太夫
五官王 都代太夫
お園 都代太夫
青鬼 若音太夫
六三 若音太夫
唱し家

極楽浄土の段

お園 一佐太夫 三都毘蔵
六三 都代太夫 上都史
お松 都代太夫
童子 若音太夫

新役員 あいさつ

常磐津 一佐太夫

公演会の担当となりました一佐太夫でございます。

常磐津節の名曲の中でも代表に就いております三世相錦文章、昨年より演奏して参りましたが、本年は10月3日十萬億土・墮地獄・極楽浄土の段を、都崑蔵理事長指導の元、少数精鋭の演奏を目指すべく、微力ながら私もお手伝いするべく今年度の理事に返り咲きました。時は速いスピードで過ぎようとしております、今一丸となつてこの大名曲に挑み、常磐津のファン一人でも多くと願つておる所でございます。

常磐津 三都由紀

この度新しく理事を任命頂きました、関西常磐津協会の為に微力ながらお手伝いをさせて頂きます。師匠であります故三都造師、故三蔵師が繋いでまいりました絆を大切に邦楽の灯を絶やす事の無いように努力してまいります。

皆様のご指導ご後援よろしくお願いたします。

常磐津 小三郎

前期に引き続き、今期も理事に就任致しました。担当は前回と同様、「会計」と「常磐津塚」です。まず「会計」ですが、当協会の支える財源は会員の皆様が入り込んで頂いている会費から成り立っております。しかし近年、入会者より現会員の死亡及び、退会者の方が多く、若干ですが減少しております。

ひとりでも多く新会員が加入して頂ける様、又、魅力的な協会にしていく為、現在色々な企画を考えております。尚、運営面において、今年に限りですが理事及び監事に対して処遇改善を実施致します。「常磐津塚」に関しては、前期の私の抱負で石碑と過去帳の整備を行うと申し上げましたが、完全に出来ておりません。現在、石碑は二名増えて、百三十五名になっております。尚、来年の「常磐津塚」の法要は四月四日に行います。会員及び御家族の皆様のご御参集をお願い致します。

常磐津 綱男

第三回社員総会におきまして理事会推薦として理事に再任されました。協会業務は事務局、芸団協、ときわづカルチャーを兼任担当致します。事務局におきましては協会員の皆様のご協力のもと業務を遅滞なく進めて参りたいと思

います。芸団協におきまして現在芸団協で取り組んでおります2020年東京オリンピックに向けて芸能実演家がどの様に参加、協力できるかと言う問題に対し積極的に提言をして参りたいと思ひます。又邦楽連絡会議では此れ迄通りの東京中心の邦楽連絡会議では無く邦楽界全体の活性化に繋がる為の邦楽連絡会議の姿を模索したいと思ひます。ときわづカルチャーにおきましては現在のところ受講生は集まつておりませんが募集要項等を見直し通年受講生を募集し来年度は文化庁の助成を受け常磐津の普及振興に努めたいと思ひます。

常磐津 都代太夫

この度理事のお役目に就かせて頂き又、機関誌つどい発行を担当させて頂く事となりました。

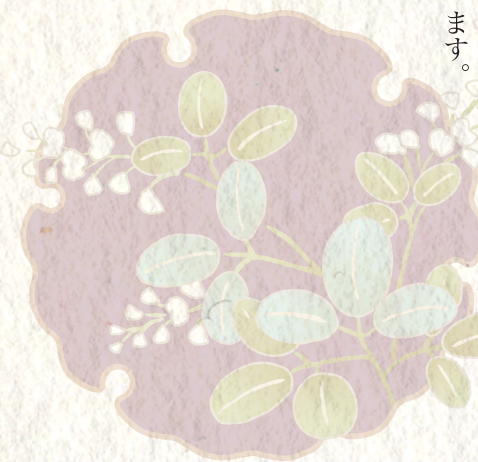
前理事長一巴太夫師急逝とこの度の役員改選、当協会も一つの転機を迎えているようにも思われます、前任の方々に習いつつ、微力乍ら精一杯勤めさせて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

常磐津 巴松太夫

去る6月3日第3回定時社員総会で監事に選出され、当協会運営に再度係

わることになりました。監事の職務は事務局及び理事の職務の執行、当法人の業務及び財産の状況、会計帳簿、公益目的支出計画実施報告書等の重要な監査業務です。

平成5年、先人の御尽力により任意団体より法人化へと移行、それ以来順調に業務推進して参りましたが節目の10年を経過時に国の施策である公益法人制度改革により当協会は平成25年4月社団法人から一般社団法人へと移行されました。それに伴い、移行後の会計処理方法が改正され、公益目的事業と収益目的事業を区分けするなど複雑化となり、また、公益目的支出計画実施報告書を毎年提出しなければならず、業務量が倍増、事務局の負担が顕著となりました。今後は事務局及び理事と意志疎通を図りながら、協会の発展に寄与出来ますよう、微力乍ら務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。



大森彦七より 湊川の合戦

常磐津 三之祐

平成26年11月3日、広報部活動の一環として、これまでも常磐津の名曲にちなんだ地を訪ね「つどい」紙面にてお伝えして参りましたが、今回は今までと少し違い劇中の舞台ではなく、回想で語られる場所「大森彦七」で大森彦七が楠木正成の娘、千早姫に湊川の合戦の顛末と、正成の最期を語って聞かせる場面にちなんで、湊川の合戦の舞台である神戸市中央区・兵庫区を訪ねました。

付近一帯は綱男理事の生まれ育った場所でもあり、時折思い出話をお聴きしながらの散策となりました。

湊川の合戦

START!!

南北朝時代の1336年((建武3年)5月25日)に九州より東上する足利尊氏・足利直義兄弟らの軍と、これを迎え撃った後醍醐天皇方の新田義貞・楠木正成らが戦い、天皇方が敗北。正成は弟・正季と自害、後醍醐天皇は京都から落ち延びることとなりました。(大森彦七では劇中が建武3年、湊川の合戦は建武2年となっています)

戦の流れとは前後しますが、訪ねた場所をご紹介します。

① 生田神社、生田の森



三宮駅よりすぐ、梶原源太で知られる生田の森ですが、新田義貞勢が激戦を繰り広げました。

③ 湊川公園、湊川神社

GOAL!!



湊川神社の前身となった徳川光圀建立の楠公墓碑



北東へ向かい大倉山から南下、正成を祀る湊川神社が今回のゴールです。

② 会下山(えげやま)公園



地下鉄湊川駅より徒歩約20分、正成が陣を張った山で公園になっています。登りごたえのある階段、坂道を登ると頂上に東郷平八郎揮毫の碑が建っています。

～海陸二手の足利勢を
引き受け引き受け 攻め破り～

公園から和田岬方面を望む。
当時はずっと海が近く、水軍を有効利用した足利方が有利に戦を進めたそうです。



湊川駅方面に戻り、湊川公園の楠木正成像



現在は都会の神戸ですが、山と海が近い独特な地形が会下山から眺めるとよく分かり、

～朝日に輝く菊水の旗ひるがえし 堂々どっと湊川へと討って出で～

の様子が目に浮かぶようでした。

協会だより

行事報告

第19回ときわぎ

平成27年1月25日(日)午後1時開演
国立文楽劇場小ホール

今年度の「ときわぎ」は故一巴太夫師社中始め都岳蔵師社中、美佐季師社中、小欣矢師社中、綱男師社中から8段の演目、常磐津教室からは3段の演目があり久々に賑やかな「ときわぎ」演奏会となりました。

常磐津塚法要

平成27年4月4日(土)正午読経
寂光寺(江口の君堂)

昨年急逝されました前理事長常磐津一巴太夫師の法要にあたりご令嬢やお弟子さん達も集われ賑やかな塚の一日となりました。

第3回定時社員総会

平成27年6月3日(水)午後1時30分
大阪中央会館

26年度行事報告、決算報告、理事改選、27年度行事予定、予算案等々の議事があり何れも満場一致で可決されました。

新役員につきましては理事を一佐太夫、小三郎、綱男、都岳蔵、都代太夫、三都由紀の6名が、監事を巴松太夫が理事会推薦として承認されました。

総会後の新理事会におきまして都岳蔵が代表理事(理事長)に選出されました。

業務各部の役割は次の通りです

担当部署	責任者	補佐
公演会	一佐太夫	美佐季
ときわぎ	三都由紀	
機関紙	都代太夫	若音太夫
ときわづカルチャー	綱男	
芸団協	綱男	
会計	小三郎	
常磐津塚	小三郎	
事務局	綱男	

総会、理事会終了後中央会館近くの中華料理屋で懇親会が催され賑やかな食事会となりました。



行事予定

芸団協関西主催芸能サロン

平成27年9月26日(土)午後1時開演
吹田市メイシアター中ホール
当協会より浄瑠璃を美佐季、亜香音、麒六、三味線は綱男、三都貴で出演致します。

演目：舞踊「東都獅子」「栗餅」

素浄瑠璃「夕月船頭」

入場料：前売り3000円

当日 3500円

第76回常磐津節公演会

平成27年10月3日(土)午後1時30分開演
国立文楽劇場小ホール
詳しくは1ページ下段をご覧ください。

個人予定

発会94年都会

平成27年7月5日(日)

南禅寺・料亭菊水

演目：蜘蛛の糸、主誰糸春雨 他数曲

第23回常磐津都岳蔵研究会

平成27年11月1日(日)

東京・紀尾井ホール

演目：忠臣蔵六段目 七段目
賛助出演者：一佐太夫、菊美太夫

第九回常磐津綱男勉強会

平成27年11月29日(日)午後1時開演
名古屋・今池ガスホール
演目：舞踊「お夏狂乱」「年増」

素浄瑠璃 老松、大森彦七、

乗合船恵方万歳、神路山色瑠

会員異動

入会 正会員 一男 太夫(二佐太夫門弟) 6月
退会 賛助会員 花岡弘江(小欣矢門弟) 3月

ときわづカルチャー 一期生募集

江戸浄瑠璃「常磐津節」に触れてみませんか...

- 内容 浄瑠璃と三味線の講座
- 場所 当協会事務所(国立文楽劇場東隣)
- 期間 平成29年3月まで
- 時間帯 要相談
- 受講料 無料

お申し込み・お問い合わせは担当理事 常磐津綱男まで

TEL:090-8200-6191 FAX:06-6214-0755
Eメール:tuna-03@world.ocn.ne.jp

編集後記

大正から昭和にかけての歌人明石海人は次のような言葉を残して居ります。

「深海に生きる魚のように自らが光らなければ何処にも光はない」

我々表現者に当てはめて見ると良く此の言葉が理解出来ます。

我々は自らが発信し、自己を表現しなければ誰も認めてくれませんが、自らが光ることによりその存在を知らしめるのです。誰も照らしてはくれませんが、その光る為の修業を我々はしなければならぬと言ふ言葉と受け止めております。

常磐津綱男